

10002651-2

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 01-140865

(43)Date of publication of application : 02.06.1989

(51)Int.Cl.

H04N 5/335

G06F 15/64

H04N 1/04

(21)Application number : 62-

298983

(71)Applicant : NISSAN MOTOR CO
LTD

(22)Date of filing :

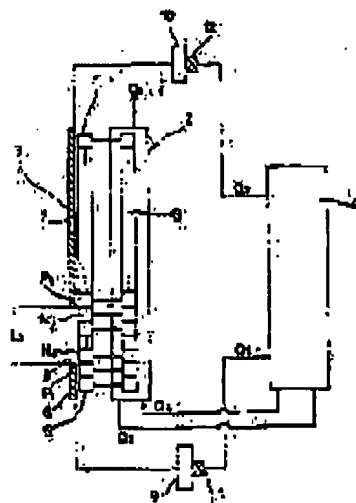
27.11.1987 (72)Inventor : SUZUKI MOTOYUKI

(54) IMAGE PICKUP DEVICE

(57)Abstract:

PURPOSE: To quicken a scanning period in conformity with an image picking up area by outputting an enable signal for video signal activation to a picture information processing part from the light reception start position to a light reception finish position of a one-dimensional image sensor, set by a mask.

CONSTITUTION: An image pickup device is provided with the one-dimensional image sensor 1, a picture processing part 2, the mask 3 and a controlling function part 4. Thy control part 4 outputs a start signal for starting scanning to the picture information processing part 2 at the light reception start position of the one-dimensional image sensor 1, set by the mask 3, and at the same time, it outputs the enable signal for video signal activation to the picture information processing part 2 from the light reception start position to the light reception finish position of the one-dimensional image sensor 1.



LEGAL STATUS

10002651-02

整理番号:GM0111025 発送番号:255834 発送日:平成18年 6月20日

1

RECEIVED

By IPA at 9:32 am, Jun 21, 2006

特許理由通知書

提出期限 9月20日

特許出願の番号	特願2002-013958
起案日	平成18年 6月13日
特許庁審査官	渡辺 努 8948 5V00
特許出願人代理人	後藤 政喜 (外 1名) 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から3か月以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理由1

この出願は、明細書及び図面の記載が下記の点で、特許法第36条第4項及び第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

請求項9において、「・・・間に何も介在させることなく・・・」とあるが、実施例のどの構成に対応するか不明である。

理由2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 1～9
- ・引用文献等 1、2
- ・備考

引用文献1には、全ての光センサよりも少数の光センサブロックの電荷だけをシフトレジスタに転送し、2回目以降の電荷も多重化される構成である。

引用文献2には、特定の領域の信号電荷のみを読み出すことを可能とした構成において、図9等を参照するに、2回目以降の電荷も多重化される構成である。

整理番号:GM0111025 発送番号:255834 発送日:平成18年 6月20日 2/E

え得るものである。

奇偶で異なるシフトレジスタに出力する構成は周知慣用のものであるから、そのような構成に引用文献1, 2の技術を適用することにより、請求項3の構成は、容易に考え得るものである。

請求項4, 6, 8に関して、シフトレートを可変させることは、容易に可能であるから、そのように設定することは、必要に応じて成す程度の事項である。

請求項9に関して、理由1にて指摘した点が不明瞭であるものの、引用文献1, 2の構成に比して格別のもものと認めることはできない。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 特開平01-140865号公報
2. 特開平10-256522号公報

先行技術文献調査結果の記録

- ・ 調査した分野 IPC H04N1/024-1/028
 DB名
- ・ 先行技術文献

この先行技術文献調査結果の記録は拒絶理由を構成するものではありません。